

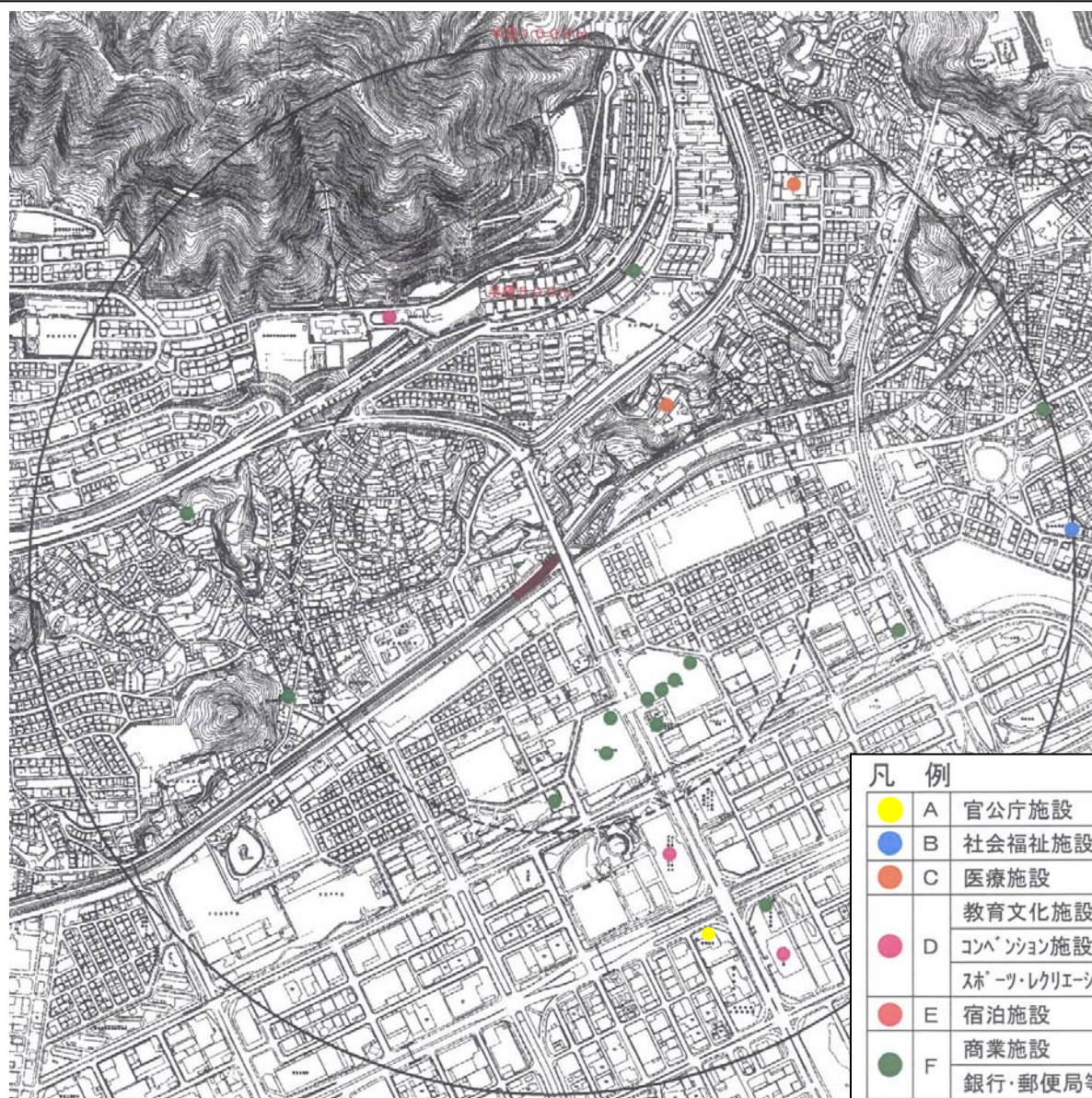
3. J R新井口駅周辺地区の現況

(1)地域特性

J R新井口駅は、本市の南西部に位置し、J R山陽本線・広島電鉄宮島線・路線バス等を結ぶ交通結節点となっており、西部商工センター地区の交通拠点としての機能を有しています。

周辺には、広島西警察署などの官公庁施設、アルパークなどの商業施設、草津病院などの医療施設、サンプラザ、西部埋立第五公園などが分布しています。

J R新井口駅周辺施設分布図



(2)交通結節点としての役割

J R新井口駅は、東西方向にJ R山陽本線と広島電鉄宮島線が運行されています。また、周辺にはバス停があり、市域内における主要な交通結節点のひとつとなっています。

(3)利用状況

J R新井口駅は、1日当たりの乗降客数が約1万5千人と、広島市域内のJ R駅でも利用者数の多い旅客施設です。

周辺には、広島西警察署などの官公庁施設、アルパークなどの商業施設、草津病院などの医療施設、サンプラザ、西部埋立第五公園などが分布しており、健常者だけでなく、高齢者や障害者の方々の利用も多く、バリアフリー化の必要性が高い地域です。

また、J R新井口駅は、広電商工センター入口駅と隣接しており、西部商工センター地区の交通拠点として、すべての人にやさしい施設として機能強化及びバリアフリー化が望まれています。

(4)駅施設及び周辺地区のバリアフリー化の現況

J R新井口駅は、ペDESTリアンデッキ上に改札口があり、そこから1階に相当するホームへ降りる構造となっています。視覚障害者誘導用ブロック、身体障害者対応トイレが既に設置されていますが、ホームへの昇降設備については、上り、下りホームとも階段のみで、エレベーター、エスカレーターが設置されていません。このため、車椅子での移動については、駅員等の介助により階段を使用しているのが現状です。

広電商工センター入口駅については、下りホームは国道2号とスロープでつながっていますが、上りホームは、駅東側の踏切を利用する必要があります。ペDESTリアンデッキからは、階段で降りる構造となっています。また、ホームには視覚障害者誘導用ブロックが設置されていません。

ペDESTリアンデッキについては、視覚障害者誘導用ブロックが設置されていますが、エレベーターは商工センター三丁目交差点に設置されているのみとなっています。

このように、特に昇降設備について設備の改善、充実など、今後さらなるバリアフリー化が望まれています。

駅周辺の状況を見ると、視覚障害者誘導用ブロックが設置されているものの、歩道の勾配や歩車道境界の段差などについて、改善が必要となっています。

さらに、歩道上の立て看板や違法駐輪・駐車などのバリアも存在し、円滑な移動の妨げとなっています。



J R新井口駅



J R新井口駅北側